ロラーニングで、 交通工学研究会認定TOP* を目指しませんか! *トラフィックオペレーションズブラウティショナ

好評につき本年度もeラーニングを実施します 道路交通技術必携2024に対応しました

2024年(令和6年)7月4日(木)、7月5日(金)に開催された「道路 交通技術必携2024」講習会の受講者の好評(受講者アンケート では、約95%の方が良かったよ!という評価)を受け、当日の 講師の方々を約15分のビデオに編集し、15分×5回または6回 =75分または90分を1編とした7編のeラーニングです。

「道路交通技術 必携2024」 講習会

【1編】15分×5回または6回 (75分または90分)

交通調査① (15分)

交通調査② (15分)

交通調査③ (15分)

交通調査③ (15分)

交通調査③ (15分)

交通調査③ (15分)

交通調査③ (15分)

交通調査③ (15分)

もちろん、各編eラーニング受講後の演習問題も付いています。

全7編の構成です(次頁のビデオ講師のご紹介を参照)

平日の講習会に参加が厳しい公務員の方々、また、社内の交通工学の研修を考えている 社内研修の担当者の方々、是非、ご利用をご検討ください。

eラーニング講座の概要

主 催:一般社団法人 交通工学研究会

講座期間: 2024年9月17日(火)~2025年2月28日(金) 申込期間: 2024年9月1日(日)~2025年1月31日(金)

申込方法: 当会資格制度のご案内webページ https://www.jste.or.jp/research_activities/top-toe/

にてお申し込みください。

受講料: 33,000円(税込)

※お申込み後のキャンセルについては、原則できませんのでご注意ください。

テキスト:「道路交通技術必携2024」(令和6年2月発行)を使用いたします。

購入は刊行物の紹介webページ https://www.jste.or.jp/pubulications/

をご参照ください。

使用するe ラーニング講座のシステム: 株式会社イー・コミュニケーションズ(e-communications Inc.) の

e ラーニングシステムを利用予定

お問い合わせ先



一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-23 錦町MKビル5階

お問い合わせフォーム https://www.jste.or.jp/contactus/お問い合わせ内容は「資格全般について」を選択してください。



路交通技術の最新

交通技術の実務に必要な知識を 体系的かつ簡潔に記述

https://www.jste.or.jp/

ビデオ講師のご紹介

第1編「交通調査」 講師: 丸山 佳孝 (株式会社 東光コンサルタンツ)

第2編「交通流現象」 講師: 井料 美帆(名古屋大学大学院 環境学研究科 准教授)

第3編「道路の設計」 講師:渡部 数樹(株式会社 オリエンタルコンサルタンツ)

第4編「交通の管理と運用」 講師: 和田 健太郎(筑波大学 システム情報系 准教授)

第5編「交通渋滞対策」 講師:鳥海 梓(東京大学 生産技術研究所 助教)

第6編「交通安全」 講師: 小嶋 文(埼玉大学 大学院理工学研究科 准教授)

第7編「道路の計画と管理」 講師: 西内 裕晶(高知工科大学 システム工学群 教授)

「道路交通技術必携2024」の概要



本書は、道路交通技術の専門家集団である一般社団法人交通工学研究会が編纂したもので、実務に携わるために必要な最小限の知識を得やすいように、体系的かつ簡潔に記述するよう心掛けました。また、本書は、2024年度から交通工学研究会認定TOP[交通技術資格者]資格試験の出題範囲を規定します。

本書『道路交通技術必携2024』は、ICT・AI技術、交通ビッグデータ、自動運転技術などをベースとした著しい技術的な発展や、それに伴う道路交通の安全・円滑に資する対策の深化、MaaSなどの新しいモビリティサービスの出現、更に昨今の社会経済情勢の変化に対応した新しい施策や制度の改訂を踏まえ、新しい技術・施策・精度の記載を充実させるとともに、編の再編も含めた構成の大幅見直しを行い、この度発刊に至ったものです。

お問い合わせ先



一般社団法人 交通工学研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-23 錦町MKビル5階 お問い合わせフォーム https://www.jste.or.jp/contactus/ お問い合わせ内容は「資格全般について」を選択してください。



https://www.jste.or.jp/